

第272号 大阪LD親の会「おたふく会」



おたふく

大阪 LD 親の会「おたふく会」
事務局連絡先 URL
[http://www.otahuku.net
/form/otoiawase.php](http://www.otahuku.net/form/otoiawase.php)

大阪 LD 親の会「おたふく会」は LD 等の発達障害のある子どもや青年の親の会です。

会報の内容について転載または一部引用をご希望の方は当会までご連絡ください。
おたふく会ホームページ URL <http://www.otahuku.net/>



日本 LD 学会第 34 回大会 親の会ポスター展示・親の会懇親会 報告

10 月 18 日・19 日、日本 LD 学会第 34 回大会の会場に設けられた全国 LD 親の会ブースにて、おたふく会 LD グループの活動をポスター展示しました。LD グループとは、これまで年 1 回開催されていた「LD の子への支援方法等の情報交換交流会」を部会化した新しいグループです。保護者の視点から積極的に情報を収集・学習し、関係諸機関への理解促進を図る活動を行っています。

【作業療法士（OT）との新たな連携の芽】

OT による ICT 支援（情報通信技術を活用した AT 支援）の仕組み構築を目標に、「パイロット版ディスレクシアプロジェクト」として、8 月に LD グループ担当の子どもを対象に実施した内容（詳細は 7 ページ）をポスターにまとめました。

今回のポスター展示を通じ、全国の OT とのネットワーク形成が進みました。全国親の会のアンケートでも、各地の ICT 支援不足が明らかです。これを改善するため、日本でもアメリカのように OT が ICT の選定・設定・運用まで担える仕組みを整備すべきだと考え、この趣旨に賛同し、ともに活動いただける OT との出会いを目標としていました。今後は、①アセスメント → ②機器選定・設定 → ③指導・定着支援 → ④学校・保護者連携 → ⑤フォローアップという一連の流れをモデル化し、学校現場で誰もが支援を受けられる恒久的な仕組み（実装）を検討しながら、ディスレクシアプロジェクトとして発展させていく予定です。



【先輩方との出会いと学び】

18 日に行われた全国 LD 親の会懇親会では 14 名の保護者が集まり、各親の会の方々と交流を深めました。発達障害者支援法の成立に関わった先輩方から貴重なお話を伺うことができ、超党派の議員立法実現の背景には、親の会による粘り強い活動があったこと、『声を上げ続ける力』が制度を動かしてきた歴史に触れ、深い感銘を受けました。また、「学び方の違う子の親の会 ルピナス」とも意見交換を行いました。今後も東西で連携し、活動を盛り上げる方向で対話を続けます。

報告

日本 LD 学会大会に参加して

～今後につなぐ新たな一歩～ LD グループ

日本 LD 学会第 34 回大会におたふく会 LD グループより 2 名参加しました。参加にあたっては①講師へ直接質問 ②名刺交換 ③ネットワーク形成を目標に掲げ、いずれも達成。研究者・専門職とつながり、今後の活動に直結する成果を得ました。

【早期発見の国際的潮流 — Nadine Gaab 先生の講義より — 】

米ハーバード教育大学院の Nadine Gaab 先生は「発見や支援は早ければ早いほど読み書き力の向上チャンスが増える。就学を待つ必要はない」と強調されました。私が実施している他の活動で就学前児童のアセスメントに課題を感じていたため、「日本には就学前の読み書きアセスメントツールが存在しないが、どう対応すべきか」と直接質問。先生からは「自作ツールの日本語化は不可能ではない。小児科医の協力があれば開発可能」との明確な回答を得ました。さらに「診断ではなく『リスク評価』として早期支援を行う」「学校での失敗を待つ必要はない」との示唆に加え、最後に「必要な協力は惜しまない」という温かいメッセージもいただきました。日本の支援体制・制度設計にとって極めて重要な視点と大きな励ましです。

【テストにおける ICT 配慮 — 井上賞子先生の指定討論 — 】

指定討論「テストと ICT」では、授業だけでなく『評価の場』での合理的配慮の必要性が議論されました。「テストは子どもの自己効力感を育てる場」であり、正當に評価されることが学びへの意欲を支えるという指摘に深く共感しました。会場では「働き方改革を理由にルビ打ちを拒否された」事例も紹介。私自身、息子の入試で同様の経験があり、学校と対話しながら技術的助言や代替手段を提案することで乗り越えました。息子の中学校も、テストの重要性と子どもの学ぶ権利を尊重していたため、建設的な対話が実現したと考えています。また井上先生には大阪府の公立高校における合理的配慮の現状を共有し、「学ぶことの権利」は基本的人権の側面を持ち尊重されるべきであることを直接お伝えしました。テストでの配慮は特別扱いではなく、学びの公平性を守る合理的配慮であることを再認識しました。

【おわりに —目標達成と御礼— 】

学会参加で掲げた①直接質問 ②名刺交換 ③ネットワーク形成はすべて達成しました。得られた知見とつながりを当会の活動に確実に活かし、会員・お子さまはもとより、まだ会員でない大阪府民の皆さまにも寄与できるよう取り組んでまいります。

また、今回ともに参加した O さんには、彼女の支えがなければ目標達成は叶わなかったと心より感謝申し上げます。このたびの学会派遣の機会に、深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。（N）



案内

互選会と運営委員募集のお知らせ

おたふく会の活動は会員の要望から一つひとつ生まれ、会員が自覚をもって支えていくことで成り立っています。皆が協力し合い活動することで自身も共に成長しています。一緒に活動する仲間を大募集しています。互選会へぜひご参加ください。

日 時： 2026 年 3 月 1 日(日)10 時から ※3 月運営委員会にあわせて互選会を実施します

場 所： ドーンセンター4 階 中会議室 2

問合せ： otahukuhp@gmail.com おたふく会事務局まで

<運営委員とは…> 「会の運営」や「各活動の企画立案と実施」を担当しています。

代表、副代表、事務局、会計、監事、ホームページ、

ブログ、瓦版、会場予約、会報編集、会報印刷発送、

グループリーダー（幼小中 G・高大 G・青年 G）

ペアレント・メンター、ペアレント・トレーニング、

LD グループ、進路進学、アドベンチャークラブ、

不登校・ひきこもりの子をもつ保護者の交流会、外部連携

（全国 LD 親の会・近畿ブロック、関係機関との会議担当）など

<会員活動・本人活動の

担当者募集中！>

一緒に企画・担当してくれる

メンバーを大募集しています♪

<運営委員の皆様へ> 現運営委員・来年度運営委員候補の方々は互選会にお集まりいただき、新運営委員の選出と会計精算をお願いします。互選会への出欠を 2 月末までに上記事務局までお知らせください。なお立替えがある方は、3 月運営委員会、互選会で必ず清算してください。参加が難しい場合は、必ず事務局までご連絡ください。

<新体制交代までの流れ>

3 月 1 日(日) 互選会・運営委員会…新年度運営委員の選出、会計清算。

※新年度に入っても総会までの期間は現体制・旧グループのままです。

5 月 24 日(日) 第 36 回総会…総会での承認を経て新体制が発足します。

総会終了後、新運営委員オリエンテーションを行います。顔合わせ・実施予定打合せ、活動仮払金・会場手配・告知・報告についての説明等ございますので、新年度運営委員の皆さまはできる限りご出席をお願いいたします。





募集案内



*申込について

申込先は「瓦版」や事務局からメールでお知らせします
会場により定員があるため申込はお早めに！

受付後は担当より返信します（受信設定をお願いします）

*参加にあたってのお願い

個人情報保護のため当日の録画・録音・口外は禁止します
記録写真撮影や感想・アンケート協力をお願いします

1/11

不登校・ひきこもりの子を持つ保護者の交流会

おたふく会内でも不登校の子どもを持つ会員も多くなりつつあることから、『不登校・ひきこもりの子を持つ保護者の交流会』を本年度も開催します。

不登校のみならず、家にひきこもりがちな子どもの保護者の方や、また元不登校・元ひきこもりの子どもの保護者の方にもご参加いただき、様々な観点から意見交換が出来る場となればと思います。完全な不登校やひきこもりではなく、登園・登校しづりや家にこもりがちな状態のお子さんを持つ保護者の方にも、ぜひこの交流会へご参加いただき、日々のお悩み解消の糸口を見つけて頂ければと思います。皆さまのご参加をお待ちしています。

日 時：1月11日(日)13時30分～15時30分

定 員：15名

参加費：無料

場 所：ドーンセンター 4階 中会議室1

備 考：人数把握のため必ず事前にメールでお申し込みください。当日の話し合いや共有をより充実させるために、申し込みの際には「事前に聞きたいこと」「話したいこと」「解決したいこと」などをメールにご記入ください。

2/1

幼小中グループ対象 進路進学オンライン交流会

中学校での生活（学業や部活のこと）をテーマに、ざっくばらんにおしゃべりしましょう！
現役の公立中学校に勤める教員・介助員・支援員も参加予定です！

日 時：2月7日(土) 10時～11時30分

開催方法：Zoomによるオンライン形式

参加費：無料



募集

おたふく会非会員・会員も対象！ おたふく会活動紹介＆交流会のお知らせ

「おたふく会入会を考えているが、会について知りたい」といった非会員さんや、「入会したばかりで活動内容がよく分からない」「入会してから何年か経つがどういう活動に参加していいのかわからない」といった会員さんに向けて、おたふく会の活動をご紹介します。会の後半では入会後の会員交流会（定期的に集まり会員同士で情報交換や相談などを行っている場）を体験して頂き、安心してご入会頂けるようにとの思いで短い時間ではありますが交流会を開催しています。（希望者のみ）

なお、この活動紹介＆交流会は、大阪府ペアレント・メンター養成研修を修了したおたふく会メンターが担当しています。どうぞお気軽にお申し込みください。



日 時： 2月1日（日）14時～15時30分 ※Zoom開催

3月1日（日）14時～15時30分

対 象：非会員・会員を問わず、保護者ならどなたでもご参加いただけます。

場 所：ドーンセンター 会議室 ※詳しい部屋番号は後日担当よりメールにて連絡

参加費：無料

備 考：人数把握のため事前に申し込みをお願いします。

申込方法：おたふく会事務局 otahukuhp@gmail.com まで、メールでお申し込みください。

タイトルに「〇月〇日おたふく会活動紹介＆交流会」、

本文に「参加者のお名前」「メールアドレス」「お子さんの学年または年齢」「性別」

「当日連絡のつく電話番号」「参加の動機」をご記入ください。

重要

運営委員会で話し合われました！

先日行われた11月運営委員会では、会員の皆さんが参加しやすく、また、運営に携わってくださる方々の負担軽減について話し合いが行われました。

検討事項として「①運営委員会を来年度以降すべてオンライン開催とすること。②それに伴いおたふく会ペアレント・メンター活動の開催回数を見直すこと」が挙げられています。今後の運営委員会や活動のあり方に大きく関わることで、ご意見ご質問のある方は2月・3月の運営委員会にぜひご参加をお願いいたします。

11月運営委員会では、会員の皆さんの「活動に参加しやすい曜日や時間帯」「活動へのリクエスト」について、おたふく会活動アンケートを実施することになりました。12月に入りましたら、事務局よりメールにてご案内しますので、Googleフォームで回答をお願いいたします。

実施期間は2025年12月中です。1月中に集計し、来年度活動の参考にいたします。

報告

アドベンチャークラブ 夏の恒例「初谷川川登り」

8月3日(日)大谷先生のご引率のもと、初谷川川登りに行ってきました。6家族18名、幅広い学年の方にご参加いただき、冷たくて澄んだ川で楽しく過ごしました。

【初参加の方の感想】

○先生や保護者の皆さま、中学生や高校生の先輩たちに優しく接していただき、教えていただいたり、遊んでいただいたりして、いきいきと過ごす我が子が見られました。もちろん親もたっぷり楽しませていただき、ご参加の皆さまが醸し出す『大きな家族』のような温かい雰囲気と豊かな自然の中でとても癒やされました。なかなか自分たちだけでは経験できない素晴らしい企画をしていただき本当にありがとうございました。来年もぜひ参加させていただきたいです。(U)

○行きの道中は、どうなるかと思いましたが、会の皆さまが声をかけてくださったり、助けていただいて、子どもたち2人とも笑顔で楽しい体験をさせてもらえました。「楽しかった！また行きたい」と言っていました。子どもたちが楽しんでいろんな体験をできたこと、皆さんに助けてもらったこと、成長したお兄ちゃんたちのカッコいい姿、優しい佇まいを見せてもらえて元気をもらえました。お兄ちゃんたちの自然体で場を楽しみつつ、さりげなくみんなに優しい姿がとても素敵で心があたたかくなりました。できないこと嫌なことよりもできること楽しいことに目を向けて、今を楽しめるようになれたらいいなと思います。(H)



報告

進路進学交流会 ～先輩会員の方にお話を聴く会～ & アンケート閲覧

6月22日(日)13時からドーンセンター中会議室で、高校在学中のお子さんを持つ4名の会員さんにお話をいただきました。4人の会員さんは、お子さんの困り感に寄り添い、出来る工夫や対策、中学校での生活や高校進学に向けての準備、進学先を決定した経緯などについての経験や情報を惜しみなく提供してくださいました。特に、フリースクールとの連携や実業系高校の取り組みを具体的に教えてもらい進路先の高校も進化していると感じました。参加者は、これから高校入試を控える中学生や小学生の保護者が4名参加しました。日常的な事から入試の事など、気になる事や不安に思う事を質問し直接丁寧に回答をしてもらい、見えない不安や焦りにも見通しが持て、前向きな気持ちになれたのではないのでしょうか。特に、思春期の娘をもつ父親が話題提供者にも参加者にもいて互いに話が盛り上がっていました。貴重な時間を過ごすことができました。

報告

LDグループ パイロット版ディスレクシアプロジェクト

8月24日（日）ドーンセンター小会議室にて大阪府作業療法士会に所属する作業療法士（OT）2名の協力を得て、LD当事者の子どもたちのiPad使用がうまくいかない背景を探る機会を設けました。困りごとを自ら話したり、写真を見せたりしてOTと共有する中で、自分が置かれた状況を一緒に分析・整理・理解し、スモールステップで目標を定め、それに向かうための具体的な方法を探ることができました。

事例①：中学2年生の男児

ADHD・ASD・LDの診断を受けた彼は、ICTの使用許可を得ているものの、日常的には活用していませんでした。OTとの対話を通じて、自分の学習スタイルやモチベーションを見つめ直し、視聴学習やクイズアプリを活用した勉強法を自ら提案するまでに至りました。

事例②：小学6年生の男児

「ICTなしには読み書きが困難」と診断され、iPadを導入した彼は、整理整頓の難しさから活用が進んでいませんでした。OTとのやりとりを通じて、片付けの意味や方法を理解し、『掃除させられる』から『掃除して使いやすくしたい』へと意識が変化。ICT活用の環境整備の重要性が改めて浮き彫りになりました。

【今後の展望】

ADHD・ASD・LDの子どもたちにとって、ICTを活用することの必要性や重要性は広く認識されつつあります。しかし、単に「ICTの使用を許可する」だけでは、子どもたちが自分で使えるようになるわけではありません。特別支援学校で点字機の使い方が教えられるように、ICTについても学校や家庭、地域での長期的な伴走支援が不可欠です。

特に作業療法士（OT）は、ICTの操作方法を教えるだけでなく、ADHD・ASD・LDを含む多様な特性を包括的にアセスメントし、子どもの環境に合わせた具体的な解決策を提案できる専門性を持っています。米国ではすでに学校OTによるICT支援の人材育成や配置が進み、継続的な支援体制が法的にも整備されています。日本でも、学校や放課後等デイサービスなど、どの地域でもOTからサポートを受けられる仕組みが望まれます。

今回の取り組みは、その第一歩として大阪府作業療法士会と連携し、プログラムを企画しました。ぜひ、関心を持ってくださる方々と一緒に、この仕組みづくりを考えていけたら嬉しく思います。どうぞお気軽にお声がけください。



報告

会社見学会に行ってきました！

7月31日（木）、（有）奥進システム見学会に参加いたしました。参加者は会員3名とその子どもの計4名でした。見学会では、在宅ワークの工夫、それぞれ使いやすいPC・机・椅子など環境面での配慮、タスク管理を社員全員で共有、社員の方々の障がいへの向き合い方などをお聞きすることができ、大変参考になりました。

【参加者の感想（抜粋）】

○親子共にコンピュータのことは苦手なので場違いかも…と思いましたが、わかりやすくお話していただけてほっとしました。皆さん生き生きと働かれているお姿や、長く働きたい、福祉に頼らないようにと皆さんとても努力されてきたお話をご本人から直接お聞きできて、とてもありがたいと思いました。様々な配慮も初めて知ることばかりで、息子も『パソコンが得意な人はこういう会社で働けるんや…』と、うらやましそうでした。ありがとうございました。

報告

ディスレクシア月間啓発の要望書を提出しました

全国LD親の会が参画している「ディスレクシア月間実行委員会」では、毎年10月を「ディスレクシア月間」としてより広く啓発を進める様々な取り組みを進めています。

全国LD親の会に所属する当会では、今年度も大阪LD・軽度発達障害親の会「翼」とともに、府下の公立図書館や学校図書館を所轄している教育委員会や図書館合わせて84か所に要望書および啓発チラシを提出しました。ディスレクシアなど読むことに困難のある人達が一人ひとりに合った方法で読書ができる環境の充実を求める働きかけを行いました。



【全国LD親の会の学校図書館用要望項目より】

1、音声化された図書、ルビがふってある図書、電子化された書籍等（映像を含む）などが利用できる環境を整えてください。サピエ図書館や国立国会図書館等、他の図書館が所蔵する視覚障害者等用データの送信サービス等について、必要とする児童生徒への情報提供や利用者登録についての支援をおこなってください。

2、アクセシブルな図書・学習教材等が、求めている児童生徒へすみやかに届くよう、「学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム」を推進してください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_01809.html

3、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」第二条にあるように、この法律における「視覚障害者等」とは、視覚障害、発達障害、肢体不自由その他の障害により、書籍について、視覚による表現の認識が困難な者であることなどの啓発活動をおこなってください。

案内

読書の秋、おすすめ書籍を紹介します！

『日本の LD 史を語る』（日本文化科学社、2025 年）

編著：上野 一彦

＜全国 LD 親の会よりおすすめ＞ 上野一彦先生による新刊『日本の LD 史を語る』が、2025 年 5 月 30 日に日本文化科学社より発売されました。本書は、LD（学習障害）という概念が日本に浸透する以前から現在に至るまでの支援の歩みを、上野先生の視点で振り返る貴重な記録です。全国 LD 親の会についても丁寧に取上げられており、親の会の活動の歴史的意義が深く描かれています。

商品 URL <https://www.nichibun.co.jp/seek/book/73702.html>



日本文化科学社からの許可を得て転載



『ことばが出ない？遅い？通じない？を解決する！ インリアル・アプローチ事典
0歳から使える最強のコミュニケーション指導法』

（薫化舎出版会、2025 年）

日本 INREAL 研究会 監修：竹田 契一

著者：河内 清美・石井 喜代香・大垣 徳子・永安 香・松尾 育子

＜会員よりおすすめ＞ ことばが出ない？遅い？通じない？そんな悩みを解決！インリアル・アプローチとは、ことばの遅れや自閉スペクトラム症、中・重度の知的能力障害のある子どもから高次脳機能障害のある成人まで、ことばが出ない・遅い・通じない人の学習とコミュニケーション能力を促進させる指導法です。かかわる側が対応を変え、楽しいコミュニケーション経験を積んでもらうことを通して意欲を持って『対人関係能力』『判断・行動できる力』を涵養(かんよう)することを重視します。入門編と理論・実践編に分かれているため保護者・保育士・幼稚園教諭から言語聴覚士など療育の専門家まで対応。豊富なイラストと事例でわかりやすく、コミュニケーション支援の理論と実践がまるっと学べます。

商品 URL <https://kg-jcra.org/kunkasha-publishing/>



薫化舎出版会からの許可を得て転載



【献本お礼】

上野 一彦先生から『日本の LD 史を語る』を、(有)奥進システム様より『障害者雇用で幸せになる方法 もにす認定5社の企業戦略』を賜りました。心よりお礼申し上げます。

『障害者雇用で幸せになる方法 もにす認定5社の企業戦略』

(ラグーナ出版、2023 年)

監修：砂長 美ん

<会員よりおすすめ> 中小企業で障害者とともに働くことのメリットがわかりやすい本です。障害者が働きやすい・働き続けられる環境を工夫し整えることで、従業員全員にやさしい職場作りに努めてこられた企業のお話はとても参考になります。厚労省の

「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度（もにす認定制度）」についても大変詳しく解説され、都道府県別のもにす認定事業主一覧も掲載されています。

商品 URL <https://store.lagunapublishing.co.jp/items/79388852>



ラグーナ出版からの許可を得て転載



『生活をゆたかにする性教育 障がいのある人たちとつくるこころとからだの学習』

(クリエイツかもがわ、2015 年)

著者：千住 真理子 編者：伊藤 修毅

<会員よりおすすめ> おたふく会総会特別企画で、性教育をテーマに講演していただいた千住先生の著書です。からだの仕組み、異性とのつきあい方、妊娠出産のことから、性にまつわる商品まで幅広く網羅されている 1 冊です。残念ながら既に品切れとなっている書籍ですが、図書館で借りられるそうです。



クリエイツかもがわからの許可を得て転載

『発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック ―親の会 30 年の経験から―』

監修：安住 ゆう子 編集：全国 LD 親の会

<既刊> 社会の中で生きるちから編
集団の生活編
生活の基礎作り編

<全国 LD 親の会ホームページより>

全国 LD 親の会会員から、主に幼児期・学童期

の困りごとや悩みのエピソードを集めました。子どもの伴走者として、悩みながらも子どもに合わせて工夫したことやヒントになりそうなアドバイスをテーマごとにまとめています。現在、子育て奮闘中の皆さんの参考になればと思います。

かもがわ出版 <http://www.kamogawa.co.jp/kensaku/syoseki/ha/1248.html>



おたふく会2025年度9月・11月運営委員会報告

2025年9月7日 オンライン開催	出席:11名	進行:代表 書記:事務局
2025年11月2日 ドーンセンター中会議室	出席:会場7名 オンライン5名	進行・書記:事務局

【会務】

1. 運営委員会の開催予定日	2/1オンライン開催 3/1 5/10 6/7 9/6 11/1
2. 会報等印刷発送予定日	272号11/30幼小中G 273号3/22青G 274号7/12高大G
3. おたふく会瓦版配信日	5/8 6/12 7/8 8/13 9/18 10/21

【理解啓発活動】

1. 総会および特別企画	第36回総会・特別企画 5/24
2. 対 行政等の要請活動など	ディスレクシア月間啓発活動
3. おたふく会ホームページ	HP更新 5/28 7/13 ブログ更新 10/5
4. おたふく会 ^ペ アレント・メンター活動	活動紹介&交流会9/7(Zoom) 11/2 2/1(Zoom) 3/1

【会員活動】

1. 会員交流会	7/13 11/30 3/22
2. 各グループ活動	進路進学 2/7 6/22 LD グループ 8/24 10/18・19 不登校・ひきこもりの子を持つ保護者の交流会 1/11
3. その他	会社見学会7/31 公立中学校への派遣 7/22

【本人活動】

1. アドベンチャークラブ	夏の初谷川川登り8/3
2. その他	

【外部連携】

1. 全国 LD 親の会	第19回総会・第25回公開フォーラム6/14 (配信 9/10～10/9) 機関紙『かけはし』100号4/8 オンライン勉強会・交流会 役員交流会4/12 8/30 10/25 行政勉強会 12/14 2/11 会員向け学習会 9/25 11/15 全国青年交流会 7/11 特別支援教育支援員養成ビデオ配信講座 ①8/20～ ②9/3～ ③9/17～ ④10/1～ ⑤10/15～ ⑥10/29～ 日本LD学会大会(親の会シンポ・ポスター・懇親会)10/18・19 ペアトレ 10/26 11/23 12/21 1/11 2/15 3/15
2. 全国 LD 親の会近畿ブロック	近畿ブロック会議 5/10 7/13 3/15
3. JDDnet 大阪	懇談会9/14 3/22 2026 発達障害啓発イベント 4/5
4. 大阪府 ^ペ アレント・メンター事業	運営委員会7/30 2/17 メンター対象研修・交流会 7/24 9/17 11/1
5. 障害者施策・関連団体会議 (※)は公開の会議(傍聴可)	大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会(※)6/24 2/25 同 こども WG(※)8/21 同 成人 WG(※)10/6 大阪市障がい者施策推進協議会発達障がい者支援部会(※) 9/2 大阪市発達障がい者支援センター連絡協議会 8/25 大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会7/7 12/8 大阪府発達障害団体ネットワーク6/5 11/6 2/5

運営委員会のお知らせ

2月1日(日) 10時～12時 オンライン (Zoom) 開催
 3月1日(日) 10時～12時 ドーンセンター4階中会議室にて

旬の情報が行き交うおたふく会の運営委員会は、会員ならどなたでも参加できます
 事前申込不要です。オンライン参加用のURLは、おたふく会瓦版でお知らせします

会報発送作業&会員交流会のお知らせ

3月22日(日) ドーンセンター4階中会議室にて

会報発送作業…担当：青年グループ 9時30分集合

2025年度より会員交流会会場にて作業を行います

会員交流会……会報発送作業終了後～12時まで

会員ならどなたでもご参加いただけます(事前申込不要・入退室自由)

ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号 ☎ 06-6910-8500

最寄駅は、京阪天満橋駅・Osaka Metro 谷町線天満橋駅・JR 東西線大阪城北詰駅



おたふくカレンダー

月	日	内 容	場 所	時 間
12月	14日(日)	全国LD親の会行政勉強会 通常の学級における個別最適な学び と協働的な学び	■ オンライン開催	10:00～11:30
1月	11日(日)	不登校・ひきこもりの子を持つ保護者の 交流会	ドーンセンター4階 中会議室1	13:30～15:30
2月	1日(日)	運営委員会	■ オンライン開催	10:00～12:00
	1日(日)	活動紹介&交流会 (おたふく会ペアレント・メンター活動)	■ オンライン開催	14:00～15:30
	7日(土)	進路進学オンライン交流会	■ オンライン開催	10:00～11:30
	11日(火)	全国LD親の会行政勉強会	■ オンライン開催	
3月	1日(日)	互選会・運営委員会	ドーンセンター4階 中会議室2 ■ オンライン参加可	10:00～12:00
	1日(日)	活動紹介&交流会 (おたふく会ペアレント・メンター活動)	ドーンセンター4階 中会議室2	14:00～15:30
	22日(日)	会報作業&会員交流会 担当:青年グループ	ドーンセンター4階 中会議室1	9:30～12:00
4月	5日(日)	発達障害啓発イベント 2026JDDnet 大阪企画	ドーンセンター4階 大会議室1	
5月	10日(日)	運営委員会	■ オンライン開催(予定)	10:00～12:00
	24日(日)	おたふく会第36回総会・特別企画	ドーンセンター ■ オンライン参加可	
6月	14日(日)	全国LD親の会第19回総会	未定	